

- ② 中学部活動地域移行の観点から、指導者が金銭に等しき報酬を受けることを許可する。
- ③ 職業野球競技者（現役プロ選手）からの指導等に全軟連承認を得ることを不要とする。

■競技に関する連盟特別規則

- ① 全日本シニア大会および日本スポーツマスターズ大会の延長戦について、直ちにタイブレーク方式に入ることとする。
- ② 全軟連が主催する大会においては、指名打者ルールを使用できるとする。なお、少年・学童部は、中体連、スポーツ少年団と協議の上、今後導入を検討する。
- ③ 少年・学童部における特別継続試合の投球数は、元の試合で投じた球数を引き継ぎ残りの球数のみ、試合時間についても残りの試合時間のみで行うものとする。
- ④ 学童部（女子含む）の試合では、野球規則 9.02（ℓ）【原注】は適用せず、負傷治療に要した時間は試合時間に算入しないこととする。

■用具・装具に関する事項

- ① 投手のサングラスの使用を認める。ただし、ミラーレンズは除く。
- ② 野手がサングラスを底の上に乗せることを認める。
- ③ 後付けフレアグリップの使用については、専用テープ等で完全に固定・被覆されたならかな形状のものであれば使用を認める。
- ④ 保護具の商標表示について、手袋、リストバンド、サポーター等の商標表示は、1箇所まで大きさ 14 cm以下、色の規制はない。アームスリーブの商標表示は 1箇所まで大きさ 14 cm以下、野手は色の規制はなく片袖のみの着用でも可。投手は、アンダーシャツと同色で、両袖着用とする。

■改訂内容前後表

主な改定内容のみ前後表を添付する。

■参考情報

<一般部のBCクラス対象の全国大会の監督会議、開会式の実施について>

2018 年～2022 年に全国大会に出場したチームを対象に実施したアンケート調査の結果、一般部のBCクラスを対象とした全国大会における監督会議、開会式の開催を次のとおり変更する。

- ・2025 年度より全国大会の監督会議および開会式を実施しないこととする。なお、2023 年から 2024 年までの 2 年間は移行期間とし、対応可能な主管支部は 2023 年から導入可とする。
- ・BCクラスの全国大会とは、東日本 1 部、2 部大会、西日本 1 部、2 部大会、高松宮賜杯 1 部、2 部大会、全日本シニア大会の 7 大会が対象となる。

以上